

○議長（門脇直樹君） 会議を再開いたします。

4番議員の一般質問を許します。4番腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） 傍聴者の皆さん、午後からお疲れところ、どうもご苦勞さまでした。

そうすれば、通告に従いまして質問させていただきます。4番腰山です。よろしくお願ひします。

2点質問させていただきます。

1点目であります。新型コロナ禍における今後の支援はということであります。

新型コロナの感染が東京はじめ大阪・北海道など全国的に拡大する中、その影響により町の景気も依然として低迷しているように感じます。町は今後も継続して事業者や収入減になられた住民の方などの支援が必要と思われるが、町は現状をどのように認識し、今後も支援の考えをお持ちか、伺います。

次に、これまで各種イベント・事業の中止・延期により減額となる補助金はどのくらい見込まれているのか。また、それを今後コロナ対策支援の財源とし使う考えはないか、伺います。

次、2点目です。岩館子ども園跡地における防災センター（仮称）建設の方向について伺います。

岩館子ども園は、統合により解体されてから数年経過しました。当初、防災センターの考えは、地域の消防団からの要望であったと記憶しております。その後、地域の人たちも関心を持つようになりました。前町長における町の計画では、改善センター、体育館の解体を見据えて防災センターのあり方を検討するということでした。現在、町はどのように考え、どのような計画で進められるのか、伺います。

以上2点、よろしくお願ひいたします。

○議長（門脇直樹君） ただいまの4番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 腰山議員のご質問にお答えします。

まずは、「新型コロナ禍における今後の支援」についてお答えします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、八峰町においても、観光客の急激な減少、ゴールデンウィーク等の繁忙期における休業、様々なイベントの中止や宴会の自粛などにより、観光関連産業、特に宿泊業や飲食業が大きなダメージを受けましたが、9月頃

からは、国の「Go To トラベル」、県の「プレミアム宿泊券や飲食券」、町の宿泊助成などにより、宿泊分野については持ち直しの動きを見せております。

しかしながら、新型コロナウイルスへの感染拡大が今なお続いており、これまでで一番高い第3波が到来し、宴会や行事、イベントなどの中止が相次いでいることもあり、これらに関連する小売業やサービス業などへの影響がじわりじわりと広がってきていると認識しています。

経済対策については、これまでも「事業継続臨時交付金」や「雇用維持臨時給付金」などにより事業の継続や町内に住んでいる方々の雇用の維持を支援し、一定の効果を上げていると考えておりますが、今回の第3波の到来による年末年始の経済活動への影響を想定した時に、個人事業者等も含めたさらなる支援が必要と考えています。

このため、6月補正予算に計上し実施した「事業継続臨時交付金」の支給基準を一部見直ししながら、現在の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の中で、「第2次事業継続臨時交付金」として対応することを検討しているところです。

さらに、新型コロナウイルスへの感染が全国的に急激に拡大し、第3波のピークが見えない状況にあり、現在落ち着いている秋田県内においても、いつ何が起こるか分からない状況にあり、今後の経済対策についても、先般国が閣議決定した追加経済対策の第3次補正予算の動向などを見極めながら、町内事業所等への支援策をタイムリーに構築してまいりたいと考えています。

なお、国の経済支援策には、雇用調整助成金や有利な経営安定資金の貸し付けなど、様々な企業支援策が整備されておりますので、白神八峰商工会とも連携しながら情報提供に努めてまいります。

また、収入減となった住民の皆様への支援については、新型コロナウイルス感染症の影響による雇い止めや離職、または勤務調整等により収入減を強いられたなどの相談が、町の新型コロナウイルス総合対策室や商工会へも寄せられていない状況ですので、国や県、近隣市町村の動向に着目してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで中止や延期になった事業予算の減額については、6月補正予算と9月補正予算において、合計で2,069万1,000円となっております。

これを「新型コロナウイルス感染症対策の財源に」というご提案ですが、現在までの町の感染防止対策事業や経済対策事業については、国からの「新型コロナウイルス感染

症対応地方創生臨時交付金」で対応できておりますし、国ではさらに今年度の第3次補正予算と来年度予算とを合わせて約30兆6,000億円を計上するとのことですので、まずは国からの交付金を有効に活用しながら対応していくこととし、不足するようであれば町の財源を投入する必要があると考えています。

次に、岩館地区防災コミュニティセンターについてお答えします。

岩館地区防災コミュニティセンターについては、平成29年3月に策定した「八峰町公共施設等総合管理計画」の中の個別施設計画において、岩館生活改善センターに代わる施設として位置付けており、「生活改善センター、岩館子ども園、岩館体育館、第15分団器具置場を除却して新たに整備する。」としています。

また、私が平成31年1月に開催した岩館第二自治会との「町長と語る会」におきましても、建設時期についての質問があり、「平成31年度は峰浜地区統合こども園建設事業に着手するため、予算的に窮屈な部分があるが、そう遠くない時期に着手したいと思っている。」という旨をお答えしています。

これらの経緯を踏まえ、事業の着手時期について慎重に検討してまいりましたが、峰浜ポンポコ子ども園が完成し予算化の目処が立ちましたので、令和3年度及び令和4年度の2カ年事業として着手したいと考えております。

また、本年10月に関係自治会長と意見交換会を開催し、事業を進めるにあたっての関係各課の役割分担と事業計画の基本方針、おおよその事業予定を説明し、ご意見を伺っております。

今後の進め方についてであります。本定例会に防災コミュニティセンター基本設計業務委託料を含む補正予算を提案しております。この業務は、関係自治会からの要望を踏まえた適切な建物の規模や備えるべき機能を検討するほか、当該建物が岩館地区の防災拠点となることから、建設予定地及び周辺の土地について地盤調査を行うこととしております。

基本設計に基づく建物の概要につきましては、適切な時期に議会に報告したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（門脇直樹君） 4番議員、再質問ありませんか。4番腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） 1点目について再質問させていただきます。

地方創生臨時交付金によりまして事業継続臨時交付金を支給するというような考えをお持ちですけれども、いつ頃それを実行されるのか。そして、どのくらいの規模、金額

の規模を考えておられるのか。その点と、それとあと地方創生臨時交付金ですが、残高はどのくらいあるのか、その点を教えていただきたいと思います。

○議長（門脇直樹君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 腰山議員の再質問にお答えします。

事業継続臨時交付金につきましては、今現在、前回の部分は1カ月間の前期、前年度との比較でやったものですから、いわゆる業種によっては、腰山議員のお店のように毎月売り上げあるとかそういう形でなくて、その月だけ受注があって、大きな例えば建築関係であれば、そういういろいろな問題が出てきましたので、今回の場合はそういう形でなくて、数カ月間連続した前年度比較の中で、まあ一定の割合、まあこの辺はこれから検討しますけども、そういう形の中でやっていきたいと思います。財源は、今回雇用維持臨時給付金4,000万円ほど予算計上してましたけれども、そこの部分がほとんど使われなくて消化率が6%ぐらいなってますので、その部分の財源、同じ節にありますから、そこの部分の財源で対応したいと思ってます。

ちなみに、前回の1次の雇用維持臨時交付金については、三千六、七、八百万円ぐらいだと思いますけど、まあそこまでは行かないにしても、どういう形で影響受けられているのか。一番心配なのは、この先がどうなるかっていう部分が一番心配されてる方多いと思いますので、まあそういう部分も含めて、今あって、1月頃から募集を開始して、早ければ、早く申請された方は1月中には交付できますし、遅くとも2月中には交付を終えたいというふうなそういう段取りで考えております。

どのくらい予算残ってるかという部分については、割り当てられた金額がトータルで……ちょっと企画財政課長の方から答えてもらいます。限度額は2億5,200万円と、それを上回った形の中で予算組んでると思いますが、その消化率が現在半分ぐらいでありますので、ただ、全部使い切ってしまうと分からないので、どのくらい余るかどうかわからないですけど、少なくとも雇用維持の部分が4,000万円の予算に対して数百万円しか使っていないので、この部分は三千数百万円残ってますから、その中での対応できますし、これからあと、いろんな部分の入札差額も出てまいりますから、そこの部分でやりくりができますから、その要件にかなう企業については全員に応援できるというふうに思ってます。

○議長（門脇直樹君） 高杉企画財政課長。

○企画財政課長（高杉泰治君） それでは、ただいまの腰山議員のご質問に対して、町長

の回答にちょっと補足したいと思います。

はじめに、第1次配分としまして7,944万9,000円配分されておりました。で、2次配分分としまして2億5,205万4,000円。合わせまして3億3,150万3,000円が八峰町の限度額として示されております。

そして先ほど説明にありましたとおり、雇用維持臨時交付金につきましては、9月議会におきまして4,000万円予算の方措置しておりました。ただし、これに対しまして実績が4件であり、支出額が259万円となっております。こちらの方ですが既に申請期間終わっておりますので、その部分につきましては3,741万円ほど不用額となっておりますので、先ほど町長の方から説明ありましたとおり、あ、3億じゃないな、3,741万円不用額としてなっておりますので、先ほど町長の方からも説明ありましたとおり、こちらに関しては同じ款項目節の中での予算でありますので、新たな対策はこちらの方の不用額を利用して行っていきたいというふうに思っております。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。4番腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） 大体説明で分かりました。大体でない、説明で分かりました。

それでですね、実は私の考えなんです、まあ今回は事業者の継続臨時交付金ということで考えておられるということですが、それ以外にあれですか、例えば住民の方、個人の方でいろいろボーナスのカットや減額、また非正規の人方が減収と、そういうような形で困っているという人方も、私、いると思います。はっきり声出しては言わないけれども、おると思っております。それで、そういう人方に経済面で安心して生活できるようにですね支援を考えていただければよいのではないかと、そのように思っております。例えば現金給付とか、それから商品券の給付とか、そういう形での考えを持って、もし予算がありましたらそっちも合わせてやっていただければ住民の方々は喜ぶのではないかと、そういうふうに考えておりますが、町長の考えを伺います。

○議長（門脇直樹君） 当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 現実の問題として、まあ商工会、それからうちの方のコロナウイルス総合対策室、そういう相談が全く寄せられてないんです。それと、先ほど執行率、まあいわゆる6%ぐらいの雇用維持の方、あの部分が30%以上、半年間の中で30%以上売り上げが減少した中で、正職員に10万円ずつやる、支給する、支援するというふうな制度なんです、これがほとんど申請来なかったっていう部分がちょっと気になって、2つ理由考えられるんですが、1つは、3割減になっていない、半年レベルで考えた時

に。で、もう一つは、正職員がそもそも少ないんだというふうなそういう2つほど考えられる部分があるので、まあそういう部分で雇い止めだとかそういういろんな、新型コロナで倒産して失業であったとか、そういう方々とかという部分の相談がまだないので、まだそういう部分の深刻さが無いのかなというふうな、ただじわりじわり来てるのは間違いないので、で、腰山議員の提案の部分で、これは例えば人口7,000人の人に1人1万円を支給するとすれば7,000万円かかります。ですから、国が一番最初に住民1人頭10万円を支援した部分は、これはものすごいお金になりますので、そういうやり方は今の町の今ある新型コロナウイルスの関係の国の交付金活用したとしても、かなり無理があると思いますので、その部分は今のところ考えておりません。ただ、本当に収入減ったとかそういった場合にどういう形でこうその部分を調べて、そういう方々に支援するかという部分は、これは非常に難しいので、それで先ほど、ほかの市町村とか県の方の対応の部分をちょっとアンテナ張って見て、そういう動きがあれば、こううまい形であれば真似てやれば良いなというふうなそういう気持ちでお答えしました。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。4番腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） 町としての的確な状況収集といいますか、判断によって、今後もしできるのであれば考えていただきたいと思います。これで1問目の再質問を終わります。

次、2問目の再質問をいたします。昨日の補正で設計業務委託料が計上され、承認したわけなんですけど、このことであれなんですけど、何ていいますか、町として自治会長から来ていただいて、何ていいますか、要望、要望といいますが、要望を聞いて、いろいろ話し合いして説明したというような話でしたが、やはりこれは自治会長だけの判断では、何ていいますか、あれする、決断するものではないと私は思います。やはり消防団、それから住民の人方から集まっていただいて、どのような考えでいるかということ把握して、それに基づいて町が計画を進めていくということが一番私は大事だと思いますが、何か町のやり方が逆なような感じするんですよ。それでこの設計料、委託料を計上してて、何か本当にちぐはぐだやり方じゃないかなと。最初の段階に問題があるのではないかというように私思ってるんですけど、町長答弁をお願いします。

○議長（門脇直樹君） 当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 私、町長になった時に加藤前町長と引き継ぎして、懸案事項というふうな形ありました。それで皆さんも知ってると思いますけれども、八峰町の公共施

設等総合管理計画、平成29年3月に策定したのですが、その中で、まあ答弁もしましたけれども、岩館生活改善センターのところについては、「当該施設、岩館子ども園、岩館体育館、第15分団器具置場、岩館第一を除却し、新たに岩館地区防災コミュニティセンターを整備する」って書いてるんですよ。検討するとかそういう部分じゃなくて、はっきり「整備する」って書いてるものですから、当然私とすれば、前町長からも、子ども園の後は給食センター、その後はこれっていうふうな形の部分の申し送りもあったものですから、ここの部分で私とすれば議員の皆さん部分では承知していることなのかなというふうな形は思ってたんですが、ただ昨日の補正予算の部分で須藤議員から指摘された時は、そうだよなって、やっぱり事前に説明しておく必要がある事項だよなっていうふうな形で思ったものですから、ああいう形を答弁いたしました。まあ実際に、ここの部分で検討するとかそういう形でなくて整備するっていうふうな形で、時期は書いてませんけれども、うたってるものですから、私とすれば当然議会の方の皆さんの方も、整備することについては了解していただいているんだなというふうな形での部分では思っていました。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。4番 腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） 町長が理解されてる、認識していると言いますが、それはちょっと、まず方向性は、造るということは決まって、造っていただくということは決まっておるようですが、結局それ、造るまでのその過程と申しますか、その点でやはり私はうまくないのではないかなと、そういうような感じしておるわけなんですよ。やはりもっと地域の声を聞いてですね、それに基づいてやるべきだと。その点、町長やっぱり理解不足っていうかさ、前町長からの申し送りで造ると、それはそれでいいですけども、やはりその点ちょっと私は違うと思いますけども。

○議長（門脇直樹君） 当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 今ある岩館地区防災コミュニティセンター、ここの部分の中身分かるのは、ここの部分だけなんです。で、その部分で、まず住民の皆さんに説明するにしても、言葉だけの説明なんです。経緯と、今まで、まあこれの計画に載せて、それから各自治会からの要望があつてこういう回答をして、そして語る会でこういう形にしてとかそこまで、まだどういう形にするのか分からないので、今の補正予算であげた部分については、その基本設計をまとめ上げる中で物があつて初めて相談成り立ちますので、その中で相談していくっていうふうな形の中で考えておりました。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。4番腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） まあいずれにしても、早急にですね、もう一度地域の声を聞くというように、そういう場を設けていただければ、地域の住民もある程度理解できると思います。ただ造るというようなことであっては、ちょっとやっぱり後々また問題起きてくる可能性もあると思いますので、その点進め方として、すいません、お願いします。

○議長（門脇直樹君） 当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 最初の町長と語る会の第1号が岩館第2自治会だったんです。で、その部分での話の中で、住民の総会の時に始まって冒頭でやりましたので、住民の皆さんも造るっていう部分に関しては受け止めていると思います。今、住民の声を伺うべきかっていうことで、今の段階でどういう施設にするかの部分については、これはやっぱりすぐにはイメージ湧かないので、ある程度のもを出して初めてその部分で意見がいろいろ出てくると思いますので、最終形態の部分については住民の意見を十分取り入れた形で、特に避難所機能については、岩館の場合は岩館小学校まで上がっていったら大変な状況ありますので、できるだけ近いところにそういう避難機能も含めたそういう施設が必要だというふうなそういうお話もあったもんですから、私としても「そうだよね」というふうな形の中で進めてきておりますので、議員おっしゃるような部分の住民の声は十二分に聞いていきます。でもその部分でもある程度のもがないとなかなか、ただ口頭でこういう部分をやるといってもなかなか住民の声が出てこないで、その部分では住民の相談になれるもの、意見を伺えるようなもの、その部分の、基本設計って名前つけたから問題あるんですけど、そういう形の部分で作って、その作り上げの過程の中で住民の意見をこう聞きながら、その部分を取りまとめていきたいというふうなそういう形で考えてます。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。4番腰山良悦君。

○4番（腰山良悦君） まあ皆さんが喜ぶ、喜ぶといいますか、納得のいくその良いものを造っていただけるものと期待して、これで質問を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

○議長（門脇直樹君） 4番議員の一般質問を終了します。

7番見上政子さん。

○7番（見上政子さん） 発言させてもらいます。

先ほどの午前中の私の一般質問の中で、陸上風力発電の質問の際に、能代中継所地上

デジタル放送エリアの電波塔のところで、ちょっとインターネット見ればオリヤマって言ったんですけれども、これが間違いで、「幟山」、幟りの旗を立てる「幟山」の登でしたので、私の発言の中身を訂正させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（門脇直樹君） ただいま見上議員より議事録文言の修正の要望がありましたが、皆さんよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（門脇直樹君） それでは、議事録を修正してください。

これで本日の日程は全部終了しました。

本日の会議を閉じます。

なお、次回の本会議は、12月18日午前10時より開会し、一般質問を行います。

これにて散会します。ご苦勞様でした。

---

午後 2時26分 散 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 門 脇 直 樹

同 署名議員 1 番 水 木 壽 保

同 署名議員 2 番 山 本 優 人

同 署名議員 3 番 奈 良 聡 子